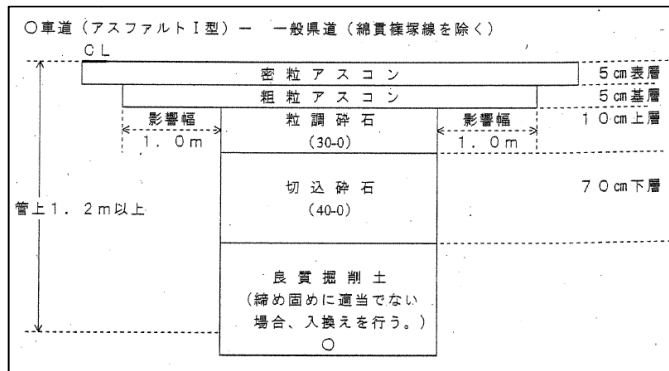


道路占用工事 舗装復旧 参考資料

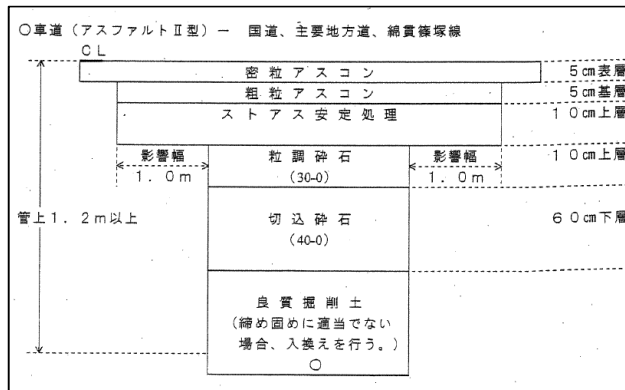
申請時「本復旧」舗装構成

●本復旧の舗装構成は、**既設 舗装構成と同様の舗装構成**とするが、着手前で構成が不明な場合は 以下構成にて申請を行うものとする。
 (出典：H2 道路管理要領P326)

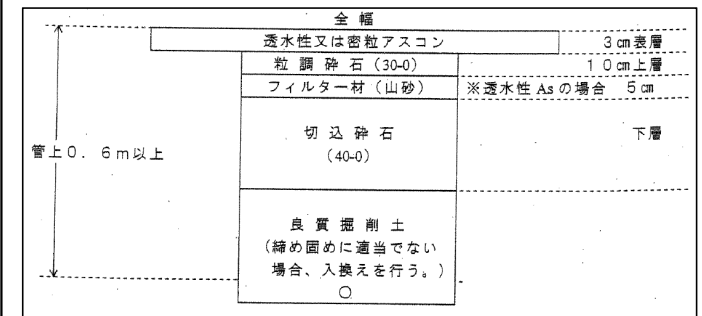
一般県道 (綿貫篠塚線を除く)
車道：アスファルトⅠ型



国道・主要地方道・綿貫篠塚線
車道：アスファルトⅡ型



歩道

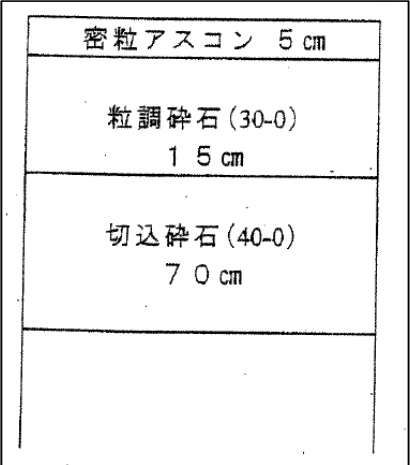
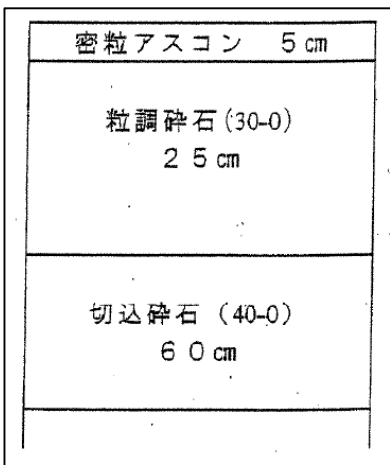
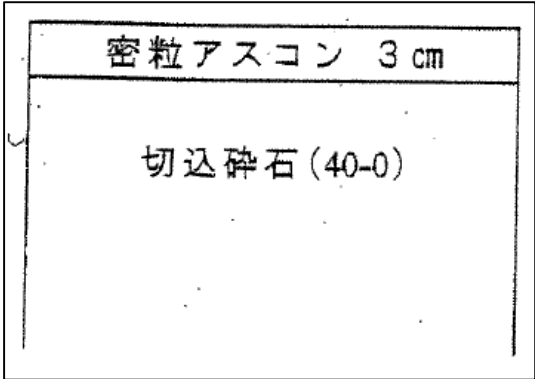


※出入口部：群馬県承認工事 承認基準に従う

※ 現況舗装が「排水性舗装」の場合は、「排水性舗装」での本復旧とする。

※ 埋め戻しは、各層 (層厚：原則として 20 cm 以下) ごとにランマーその他の適当な機械で十分締め固め、工事完成届の写真記録として添付すること。

申請時「仮復旧」舗装構成

一般県道 （綿貫篠塚線を除く） 車道：アスファルトⅠ型	国道・主要地方道・綿貫篠塚線 車道：アスファルトⅡ型	歩道
 <p>密粒アスコン 5 cm</p> <p>粒調碎石 (30-0) 15 cm</p> <p>切込碎石 (40-0) 70 cm</p>	 <p>密粒アスコン 5 cm</p> <p>粒調碎石 (30-0) 25 cm</p> <p>切込碎石 (40-0) 60 cm</p>	 <p>密粒アスコン 3 cm</p> <p>切込碎石 (40-0)</p>

－ 注意点 －

- ①昼間の工事は9～17時の間に行い、必ず仮復旧で開放すること。
 - ・未舗装での開放は認めない。
- ②仮復旧箇所については、定期的に現地確認を行い、沈下や破損がある場合等は直ちに補修を行うこと。
 - ・特に降雨があった場合は、舗装の剥がれや沈下が発生しやすいので、必ず現地確認を行うこと。
- ③既設舗装に「わだち」等があり、復旧部と段差が生じてしまうような場合は、右図のような「すりつけ」等を行い、振動等に対する措置を行うこと。
- ④占有者は、自身が行った「舗装復旧工事」について、検査合格の日から2年間の瑕疵担保責任を負うこと。
 - ・ただし、占有者に故意または重大な過失があると認められる場合には10年間とする。

